

令和5年度小学校における外国語教育指導者養成研修 実施要項

1 目的

小学校の外国語教育を担当する教諭及び指導主事等が、学習指導要領における外国語活動及び外国語科の実施に当たり、そのさらなる充実に向けた推進方策について理解を深めるとともに、教職員が外国語教育を円滑に進めるための指導法や専門的事項を総合的に習得する。加えて、上記の受講者が、1) 小学校における外国語教育の改善に専門的知見を活用し、組織的な取組を推進する指導力、2) 学校や当該地域の教職員を対象に、小学校における外国語教育に関する専門性の向上を推進する人材育成及び専門性の向上を図る研修推進の方策を習得できるようにする。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 共催 文部科学省

4 期間 令和6年2月5日(月)～令和6年2月7日(水)

5 実施方法 Web会議サービスを用いた同時双方向通信によるオンライン研修(Bタイプ)

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば本部
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

7 標準定員 120名

8 受講者

(1) 受講資格

- ① 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担等主事並びにこれに準じる者
- ② 小学校及び特別支援学校、中学校外国語科の教諭等であって、各地域において本研修内容を踏まえた研修の講師及び、小学校における外国語教育推進の指導者としての活動を行う者
- ③ 当機構の修了証書をもって単位認定を行う(予定を含む)教職大学院の学生(教職経験のある者に限る)

※「第5次男女共同参画基本計画」(令和2年12月25日閣議決定)を踏まえて、本研修における女性教職員の割合を25%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について御配慮願いたい。

(2) 推薦人数

推薦する場合、以下のとおりとする。

各都道府県教育委員会においては2名程度とする。各指定都市教育委員会、各中核市教育委員会、各都道府県知事部局、附属学校を置く各国公立大学、国立青少年教育振興機構等においては1名程度とする

(3) 推薦手続

推薦期限は、令和5年12月1日（金）とする。

各都道府県・指定都市教育委員会等においては、候補者を取りまとめて「研修システム」により推薦を行う。ただし、中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(4) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。ただし、標準定員を超過する場合は、受講者数を調整することがある。そのため、「研修システム」により推薦を行う際に、候補者毎に推薦順位を入力すること。

9 研修内容

学習指導要領における、小学校外国語教育の現状と課題を講義や演習を通して理解した上で、今後の小学校における外国語教育の方向性を踏まえた指導法や専門的事項を総合的に習得する。日程案は別紙1のとおりとする。

10 事前課題等

(1) 研修成果活用計画書の作成

受講者および所属長は事前に「研修成果活用計画書」を作成し、提出すること。なお、様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

(2) その他の事前課題

その他の事前課題がある場合は、受講者決定時に別途連絡する。

11 研修成果の活用

本研修は、受講者の研修成果を各学校や地域で活用することを前提としている。そのため、研修終了後1年程度の期間を経た後に、研修成果の活用状況（研修企画、研修講師、他校訪問等）についてのアンケート調査を実施する。推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

12 その他

(1) 所定の課程を修了した受講者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。

(2) 本研修は、Web会議サービス「Zoom ミーティング」((株)Zoom ビデオコミュニケーションズ)を用いて同時双方向通信を行うオンライン研修である。受講に当たっては、当該ソフトウェアのインストールやインターネット通信環境の確保のほか、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Webカメラ等の必要機器、もしくはそれらを備えた端末を、1人1台準備すること。

(3) 受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

(4) 本研修の受講に際し、特別な配慮が必要な者（障害、持病等）を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

令和5年度小学校における外国語教育指導者養成研修 日程表

2/5 (月)	9:00	9:15	9:40	9:45	12:15	13:15	16:05	16:10	16:30		
	開講にあたって	25分	イントロダクション	休憩	150分		昼休憩	170分		20分	
					(第1講)小学校外国語教育のポイント			(第2講)単元計画づくりのポイント			
				演習・協議 本研修で取り組みたい課題の明確化	講義・協議 言語活動とは			協議・講義 単元計画づくりについて	演習・協議 バックワード・デザインで考える単元計画づくり	休憩	リフレクション

2/6 (火)	9:00	9:25	12:15	13:15	16:05	16:10	16:30
	25分	170分	昼休憩	170分	20分		
						(第3講)小学校外国語教育の評価	(第4講)小学校外国語教育の推進に向けて
イントロダクション	協議・講義 学習評価についての理解を深める	講義・演習・協議 作成した単元計画の学習評価を再検討する	協議・講義 一人一台端末の活用についての理解を深める	講義・演習・協議 作成した単元計画の一人一台端末の活用を再検討する	休憩	リフレクション	

2/7 (水)	9:00	9:25	12:15	13:15	14:00	15:50	15:55	16:15	16:30
	25分	170分	昼休憩	45分	110分	20分			
							(第5講)実践から学ぶ	(第6講)外国語教育における小中連携の必要性和ポイント	(第7講)研修成果の活用
イントロダクション	講義 授業づくりについての理解を深める	演習・協議 作成した単元計画をもとに授業案を作成・検討する		講義・協議 研修づくりに向けて	演習・協議 研修計画を作成・検討する	休憩	リフレクション	閉講にあたって	

※ 本研修の講義・演習では、文部科学省/mextchannel「外国語教育はこう変わる！」動画等を活用する予定です。

※ 午前・午後の講座では、途中に15分間の休憩を入れます。講座によっては、各自で時間を決めてとっていただく場合もあります。

教職員支援機構 研修受講者推薦名簿 記入例

年度 — 2023
 研修名 — 小学校における外国語教育指導者養成研修
 開催名 —
 開催期間 — 2024/2/5(月)～2024/2/7(水)

様式 1

選択項目
 入力項目

明細番号	推薦機関	受講者氏名	フリガナ	年齢	性別	所属					所属機関種別	フリー項目							
						名称	職名1	職名2	郵便番号	所在地		校種	経験年数	英語の免許	英語専科	現在使用している教科書	メールアドレス	推薦順位	備考(記入事項がない場合は「なし」と記入してください)
	〇〇県	筑波 ひかり	ツクバ ヒカリ			〇〇県立教育センター	指導主事	指導主事	000-0000	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇	教育(研修)センター	小	6	○	○	NEW HORIZON (東京書籍)	〇〇@~	1	なし
<p>～留意点～</p> <p>※提出された受講者推薦名簿は、教職員支援機構における研修及び調査研究事業の範囲で使用します。</p> <p>○明細番号 → 未記入のままにしてください。</p> <p>○推薦機関 → タブから選択してください。</p> <p>○氏名 → 姓と名の間に全角スペース(1文字分)を入力してください。</p> <p>○フリガナ → 全角カタカナで入力し、姓と名の間に全角スペース(1文字分)を入れてください。</p> <p>○年齢 → 令和6年3月31日現在で入力してください。</p> <p>○性別 → タブから選択してください。</p> <p>○所属名称 → △△市立△△小学校、△△県教育委員会 等 正式名称を入力してください。</p> <p>○職名1 → 指導主事、校長、教頭、教諭、事務職員 等 タブから選択してください。 選択項目に該当がない場合は「その他」を選択し、職名2に職名を手入力してください。(例:職名1「その他」、職名2「主任指導主事、研修主事、総括教諭」等)</p> <p>○職名2 → 職名1で「その他」以外を選択した場合は、職名1の情報が自動入力されますが、具体的な職名を入力することも可能です。(例:職名1「事務職員」、職名2「事務長」等) 職名2が自動入力されない場合は、職名1と同じものを入力してください。</p> <p>○郵便番号 → 半角数字でハイフンを含めて入力してください。</p> <p>○住所 → 都道府県を含めて入力してください。</p> <p>○所属機関種別 → タブから選択してください。</p> <p>○校種 → 「校種」欄には、小学校教員は「小」、中学校及び中等教育学校(前期課程)の教員は「中」、高等学校及び中等教育学校(後期課程)の教員は「高」と記入してください。 特別支援学校の教員は「特」および学校種(「小」、「中」、「高」のいずれか)の両方を記入してください。(例:「特・小」) 指導主事等については、学校種(「小」、「中」、「高」、「特」のいずれか)を必ず記入してください。「特」の場合は、学校種(「小」・「中」・「高」)も併せて記入してください。(例:「特・小」)</p> <p>○経験年数 → 小学校における外国語指導の経験年数を記入してください。</p> <p>○英語の免許 → 英語教員の免許を取得している場合には○を、それ以外は×を記入してください。</p> <p>○英語専科 → 英語専科の場合には○を、それ以外は×を記入してください。</p> <p>○現在使用している教科書 → 現在、使用している教科書名を記入してください。</p> <p>○メールアドレス → 受講確認や、システム上で提供できない形式の資料を提供する場合等に使用します。添付ファイルの受信ができるアドレスを記入いただき、教職員支援機構からのメール(@nits.go.jpおよび@ml.nits.go.jp)の受信拒否をしないよう設定するよう、受講者に周知をお願いします。</p> <p>○推薦順位 → 定員を超過した場合、人数調整を行いますので、推薦機関ごとに推薦順位(1位から順に)を付してください。(調整する場合には、推薦順位が高い順に受講者決定を行います。)</p> <p>○備考 → 記入事項がない場合は、「なし」と記入してください。</p>																			